

県 営 土 地 改 良 事 業 変 更 計 画 書

ため池等整備事業 恵之久保地区

愛 媛 県

土 地 改 良 事 業 計 画 書

	ページ		ページ
第1章 目的	1	第3節 用水計画	該当なし
第2章 地域及び地積		第4節 排水計画	該当なし
第1節 地域	1	第5節 道路計画	該当なし
第2節 地積	1	第6節 農用地造成計画	該当なし
第3章 現況		第7節 洪水調節計画	該当なし
第1節 気象及び海象		第8節 干拓計画	該当なし
1 一般気象	2	第9節 農用地整備計画	該当なし
2 特殊気象	2	第10節 老朽ため池改修計画	
3 海象	該当なし	1 洪水吐改修計画	11
第2節 土地状況		2 堤体補強計画	11
1 地形、土壌及び侵食の程度	3	3 取水施設改修計画	11
2 土地分類	該当なし	第5章 主要工事計画	
3 土地利用の状況	4	第1節 用水施設	該当なし
4 土地所有の状況	4	第2節 排水施設	該当なし
第3節 水利状況		第3節 道路及び索道	該当なし
1 用水状況	5・6	第4節 農用地造成	該当なし
2 排水状況	該当なし	第5節 洪水調節施設	該当なし
3 河川状況	該当なし	第6節 干拓施設	該当なし
第4節 道路現況	該当なし	第7節 農用地整備施設	該当なし
第5節 地域農業の概況		第8節 老朽ため池改修施設	
1 産業別就業人口	7	1 貯水池	12
2 経営耕地広狭別農家数及び耕地の 分散状況並びに専兼業別農家数	7	2 堤体補強施設	12
3 動力農機具及び主要家畜頭数	7	第6章 附帯工事計画	該当なし
4 主要作物作付状況	8	第7章 工事の着手及び完了の予定時期	12
5 農業の動向	8	第8章 環境との調和への配慮	12
第6節 地域環境の概況	8	第9章 換地計画の概要	該当なし
第4章 一般計画		第10章 事業費の総額及び内訳	13
第1節 事業計画の要旨		第11章 効用	13
1 要旨	9	第12章 関連する事業	該当なし
2 事業別面積	9	第13章 現況・計画図面	
第2節 営農計画及び土地利用計画		1 現況平面図	13
1 営農計画の概要	10	2 計画平面図及び土地利用計画図	13
2 土地利用区分	10	3 主要構造図	13
3 作付方式	10		
4 生産計画	10		
5 労働改善計画	該当なし		
6 級地別土地利用区分	該当なし		
7 土地配分計画	該当なし		

第1章 目 的

本ため池は四国中央市豊岡町大町の21.5haを灌漑する主要な用水源となっている。また、同集落の上流部に位置することから、洪水時の流量調整池としての機能も有しており、地域の防災施設として重要な役割を担っている。築造後約100年経過しており、堤体全体に老朽化が進行し、上流法面は波浪による浸食がみられるほか、下流法尻からの漏水が著しい。よって、下流域に居住する住民の安全と灌漑用水確保のため、本ため池は早急な改修を要する。

第2章 地域及び地積

第1節 地 域 (第1表)

事 業 名	地 域
ため池等整備事業 (農村地域防災減災事業)	四国中央市豊岡町大町

第2節 地 積 令和7年2月現在 (第2表)

事 業 名	現況地目 地 区 名	田 (ha)	畑 (ha)	樹園地 (ha)	山 林 (ha)	そ の 他 (ha)	計 (ha)	備考
	恵之久保	20.0		1.5			21.5	
ため池等整備事業 (農村地域防災減災事業)								
	計	20.0		1.5			21.5	

第3章 現 況

第1節 気象及び海象

1 一般気象

(第3表-1)

観測所名	四国中央	かんがい期	非かんがい期	計 又は平均	備 考
観測期間	1991～2020	5月～9月	10月～4月		
平均気温(℃)	24.2	10.8	16.4		
降水量	降水量(mm)	882.8	561.7	1444.5	
	基準年	-	-	-	
降水日数	降水日数	52.1	60.9	113	
	基準年	-	-	-	
根雪期間	月 日 ～ 月 日 日間				
無霜期間	月 日 ～ 月 日 日間				
最多風向	W	最大風速 (風向)	15.9m/s (W)	最大風速発生年月日2012.4.12	

2 特殊気象

(第3表-2)

観測所名	第1位			第2位			第3位			第4位			第5位			備 考
四国中央																
観測期間	数 量	年 月 日	発 生 確 率	数 量	年 月 日	発 生 確 率	数 量	年 月 日	発 生 確 率	数 量	年 月 日	発 生 確 率	数 量	年 月 日	発 生 確 率	
1978～2024																
最大日雨量(mm)	316	H2 9 18	1/ 65	294	H16 10 20	1/ 46	246	H16 9 29	1/ 21	237	H23 5 29	1/ 18	236	H16 8 17	1/ 18	
最大時間雨量(mm)	61	H25 9 4	1/ 25	60	H1 8 27	1/ 23	59	H18 8 30	1/ 21	56	H16 9 29	1/ 16	54	H16 8 17	1/ 13	
最大4時間雨量(mm)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
最大連続雨量(mm)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
最大連続干天日数(日)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

3 海 象 (該当なし)

(第3表-3)

観測所名		既往最高 潮位 (m)	さく望平 均満潮位 (m)	上下弦平 均満潮位 (m)	平均潮位 (m)	上下弦平 均干潮位 (m)	さく望平 均干潮位 (m)	既往最低 潮位 (m)	備 考
観測期間	年～ 年								
実 測 値		()						()	

第2節 土地状況

1 地形、土壌及び侵食の程度

(第4表-1-1)

事業名	地目 傾斜区分	田						畑・その他							受益地標高 (m)		備考	
		1/1000 以下	1/1000 ～ 1/100	1/100 ～ 1/20	1/20 ～ 1/15	1/15 以上	計	3° 以下	3° ～ 8°	8°～15°			15° ～ 20°	20° 以上	計	最 高		最 低
										8° ～ 10°	10° ～ 13°	13° ～ 15°						
ため池等整備事業	面積 (ha)					20.0	20.0		1.5						1.5	91.5	14.6	
	比率 (%)					93.0	93.0		7.0						7.0			

(第4表-1-2)

土 壤 統 (区) 名	項 目	土 壤 統 (区) 区 分 一 覧 表								面 積 (ha)			備 考	
		土 壤 断 面						堆 積 様 式	母 材	事 業 名				
		色	腐 植 層	礫 層	酸化沈殿物	土 性				泥炭層 黒泥層 及び グライ層	ため池 等整備 事業	計		
						表土	下 層 土							
						一層	二層							三層
北多久統	灰褐 黄褐	なし	あり	あり	粘質	強粘質		なし	洪積	非固結 水成岩	21.5		21.5	
計											21.5		21.5	

(該当なし)

(第4表-1-3)

事業名	区 分	土 壌 の 流 亡 率				年 平 均 流 亡 速 度				ガリ侵食の程度		備考
		0	0～25%	25～50%	50%以上	0	3mm未満	3～5mm	5mm以上	中程度のもの	大なるもの	
	面積(ha)											
	比率(%)											

2 土地分類 (該当なし)

(第4表-2-1)

級地別 市町村名	農 用 地 造 成										計 (ha)	備考
	一級地	二 級 地				三 級 地				四 級 地		
		※ (ha)	3°～8° (ha)	8°～12° (ha)	12°～15° (ha)	※ (ha)	15°～20° (ha)	20°～25° (ha)	25°～30° (ha)	※ (ha)	30°以上 (ha)	
計												※は傾斜以外の要因によるもの

(該当なし)

(第4表-2-2)

市町村名	級地別	干 拓					備 考
		一 級 地 (ha)	二 級 地 (ha)	三 級 地 (ha)	四 級 地 (ha)	計 (ha)	
計							

3 土地利用の状況

(令和7年 2月) (第4表-3)

事業名	地区別	土地利用別	耕 地								山 林		採草放牧地 (ha)	原 野 (ha)	そ の 他 (ha)	計 (ha)	備 考
			水 田		普通畑 (ha)	牧草畑 (ha)	果樹園 (ha)	桑 園 (ha)	茶 園 (ha)	そ樹の園地 他地の— (ha)	用材林 (ha)	薪炭林 (ha)					
			一毛作田 (ha)	二毛作田以上 (ha)													
ため池等整備事業	恵之久保	20.0				1.5									21.5		
計		20.0				1.5									21.5		

4 土地所有の状況

(第4表-4-1)

事業名	所有別 区 分	個人所有				計	備 考
ため池等整備事業	面 積 (ha)	21.5				21.5	
	受 益 者 数	88				88	
	筆 数 (筆)	496				496	
	権 利 関 係	所有権, 小作権 使用貸借権					
	備 考 (関係受益者数)	88				88	

第3節 水利状況

1 用水状況

(1) 用水系統 (該当なし)

(2) 用水施設

(ア) 取水方法一覧表

(第5表-1)

事業名	項 目 施設名	か ん が い 面 積						計		水 利 権		慣行水利権		延取水量	備 考
		50 h a 以上		50～10 h a		10 h a 以下									
		箇所	h a	箇所	h a	箇所	h a	箇所	h a	箇所	m3/s	箇所	m3/s	m3/s	
ため池等整備事業	井 堰														
	自然取入口														
	貯 水 池			1	21.5			1	21.5			1	0.102		
	揚 水 機														
	そ の 他														
合 計				1	21.5			1	21.5			1	0.102		

(イ) 改修を要する施設一覧表

(第5表-2)

事業名	項 目 施設名	箇所数 (箇所)	受益面積 (h a)	構 造	規 模	新設又は 更新年月日	改修を必要とする理由	備 考
ため池等整備事業	井 堰							
	自然取入口							
	貯 水 池	1	21.5	土堰堤	堤長L=105m 堤高H=9.9m	1928年	堤体の漏水・断面変形 洪水吐：老朽化	
	揚 水 機							
	そ の 他							
合 計		1	21.5					

(3) 用水に関する被害状況 (該当なし)

(ア) 用水不足による被害状況

(第5表-3-1)

(7) 用水不足による被害状況										(第3表-3-1)	
事業名	項目 系統名	かんがい 面積 (ha)	現 況 必要水量 (千m3)	不 足 水 量				平均減産量 (t)	平 均 維持管理費 (千円)	備 考	
				かんがい期最大不足水量		かんがい期総最大不足水量					
				平 均 (m3/S)	基 準 年 (m3/S)	平 均 (千m3)	基 準 年 (千m3)				
合 計											

(イ) その他の被害状況

(4) ため池決壊の場合の想定被害状況

(第5表-3-3)

事業名	工区名	想 定 被 害 面 積 (ha)				想 定 被 害 額 (千円)						人 命 (人)	備 考
		水 田	畑	その他	計	作 物	農 地	農業用 施設	公 共 施設	家 屋 その他	計		
ため池等整備事業	恵之久保	24.9	3.1	10.4	38.4	20,669	33,560	119,830	455,027	437,072	1,066,158		
合計		24.9	3.1	10.4	38.4	20,669	33,560	119,830	455,027	437,072	1,066,158		

2 排水状況 (該当なし)

3 河川状況 (該当なし)

第4節 道路現況 (該当なし)

第5節 地域農業の概況

1 産業別就業人口

(第7表-1)

市町村名	項目 総 数 (人)	農 業 (人)	林 業 (人)	漁 業 (人)	鉱 砂 利 採 石 取 業 (人)	建 設 業 (人)	製 造 業 (人)	電 気 給 水 道 熱 業 (人)	情 報 通 信 業 (人)	運 郵 輸 便 業 (人)	卸 小 売 業 (人)	金 保 融 険 業 (人)	不 動 産 業 貸 業 (人)	学 門 術 ・ 研 究 ・ 学 専 業 (人)	宿 飲 泊 食 業 ・ レ ス ・ 業 (人)	生 ビ ス 活 業 ・ レ ス ・ 業 (人)
四国中央市	39,064	1,223	48	100	3	2,435	12,416	158	169	2,847	4,918	596	315	682	1,330	998
計	39,064	1,223	48	100	3	2,435	12,416	158	169	2,847	4,918	596	315	682	1,330	998
比率(%)	100	3.1	0.1	0.3	0.0	6.4	31.8	0.4	0.4	7.3	12.6	1.5	0.8	1.7	3.4	2.6

市町村名	項目	教 育 支 援 業 (人)	医 療 福 祉 (人)	複 合 業 ・ レ ス (人)	サ ー ビ ス 業 (人)	公 務 (人)	分 産 業 不 能 の (人)	備 考
四国中央市		1,264	5,163	381	1,803	955	1,260	2020年 国勢調 査
計		1,264	5,163	381	1,803	955	1,260	
比率(%)		3.2	13.2	1.0	4.6	2.4	3.2	

2 経営耕地広狭別農家数及び耕地の分散状況並びに専業別農家数

(第7表-2)

市町村名	区分 農業 経営 体数	経営耕地広狭別農家数(戸)										1戸当平均農用地面積(ha)					耕地の 分散状況		専業別 農家数(戸)			備 考
		0.30 ha	0.30 ～ 0.5	0.5 ～ 1.0	1.0 ～ 1.5	1.5 ～ 2.0	2.0 ～ 3.0	3.0 ～ 5.0	5.0 ～ 10.0	10.0 ～ 20	20.0 以上	田	畑	樹 園 地	小 計	草 地	計	1戸 当 地 数	団 地 面 積 (ha)	専 業	兼 業	
		未満	0.5	1.0	1.5	2.0	3.0	5.0	10.0	20	以上									第1種	第2種	
四国中央市	1,049	10	297	440	158	43	43	29	7	2	1	19	0.78	0.29	0.35	1.42	1.42	-	-			2020年 農林業 センサ ス
																		-	-			
																		-	-			
計	1,049	10	297	440	158	43	43	29	7	2	1	19	0.78	0.29	0.35	1.42	1.42	-	-			
比率(%)	100	0.9	28.3	41.9	15.1	4.1	4.1	2.8	0.7	0.2	0.1	1.8	54.9	20.4	24.7	100	100	-	-			

3 動力農機具及び主要家畜頭数

(第7表-3)

市町村名	項目	動力農機具								主要家畜								備考
		動力田植機		トラクター		コンバイン				豚		採卵鶏						
		数量 (台)	戸数 (経営体)	数量 (台)	戸数 (経営体)	数量 (台)	戸数 (経営体)	数量 (台)	戸数 (戸)	数量 (頭)	戸数 (経営体)	数量 (100羽)	戸数 (経営体)	数量 (頭)	戸数 (戸)			
四国中央市									10,723	11	1,997	8			2020年 農林業 センサス			
100戸当数量 (台, 頭)									97,482		24,963							
利用戸数割合 (%)									-		-							

4 主要作物作付状況

(第7表-4)

市 町 村 名			四国中央市						平 均	作付率	備 考		
総耕地面積(ha)			1,960						—				
区 分			作付面積	単位面積 当 収 量	作付面積	単位面積 当 収 量	作付面積	単位面積 当 収 量	作付面積	単位面積 当 収 量	(%)		
作物名			(ha)	(kg/10a)	(ha)	(kg/10a)	(ha)	(kg/10a)	(ha)	(kg/10a)			
田	表 作	稲	650	453							33.2	農林水産統計年報R2	
	裏 作	小麦	10	375							0.5		
	小 計		660								33.7		
畑	野菜類		202	—							10.3		2020年 農林業センサス
	豆類		4	—							0.2		
	小 計		206								10.5		
樹園地	果樹類		—	—									
	小 計												
計			866								44.2		
市町村別 延作付率 (%)													

5 農業の動向

(第7表-5)

区 分	項 目	農 家		土 地		主 要 作 物		大 家 畜		動 力 農 機 具		地 域 指定等	備 考
		B	A	B	A	B	A	B	A	B	A		
変化の状況 (C年を 100とする 指数)	農業経営体数	81.8	69.0	耕 地	84.5	79.6	水 稻	89.1	—	乳用牛	—	田植機	特農
	専業農家数			田	87.4	79.4	麦類	—	—	肉用牛	—	トラクター	
	第一種 兼業農家数			畑	94.9	146.2	豆類	125.0	100.0	豚	65.3	コンバイン	
	第二種 兼業農家数			樹園地	68.4	56.1	野菜類	88.8	90.2	採卵鶏(100羽)	58.1		
	農業 従事者数	73.2	56.4				果樹類	—	—				
変化の理由		農業就業者の高齢化、 後継者の減少、作物価格 低迷、少子化など社会的 条件により、減少してい る。		農業就業者の高齢化、 後継者の減少、農地の転 用などにより減少してい る。		農業就業者の高齢化、後 継者の減少、農地の転用 などにより減少している。		農家数の減少に伴い減少 している。					

第6節 地域環境の概況

自然環境

本地区は、温暖で穏やかな瀬戸内型気候に属し、北の平野部を挟み瀬戸内海沿岸、南には急峻な法皇山脈から四国山地へと続く山間部を擁し、多様な自然環境と生態系を有している。多様な生物が生息する一方、混住化や宅地化に伴う環境の悪化が懸念されている。

社会環境

本地区は、人口の減少や少子高齢化が進行しているほか、農家の兼業化が進み、混住化や宅地化が見られるなど、農地と宅地が混在した集落を形成している。そのため、混住化や過疎化の進行等に伴う集落における取組や活動の低下により、集落のもつ様々な機能の低下が懸念されている。集落の活性化を図り、魅力ある地域とするため、若者も高齢者も全ての住民が安心して生き生きと暮らしている環境を作り出すことが重要となっており、様々な地域資源の維持・伝統行事の継承を行いながら住みやすい生活環境の実現に向けた取組が望まれる。

生産環境

農地の減少、耕作放棄地の増加が進行しており、鳥獣害による農業被害が増加している。また、農業就業者の高齢化が進展する中で、担い手の確保が急がれている。個性ある高付加価値生産による地産地消の推進が求められている。

第4章 一般計画

第1節 事業計画の要旨

1 要 旨

本ため池は築造後約100年経過しており、近年堤体の老朽化が進み、堤体からの漏水（1.095 t/sec/100m）が著しい。また、堤体前法は波浪による浸食が進み、堤体の脆弱化が顕著になっており、洪水吐も老朽化していることから堤体の決壊につながるものと推察される。万一決壊すれば下流農地、農業用施設、四国縦貫自動車道等に多大の被害を及ぼすと共に貴重な水源を失う事となる。

2 事業別面積

(第8表)

事業名 土地 利用区分 事業目的	ため池等整備事業																		計 (ha)	備考
	田	輪耕	普通	牧	果	小	田	輪耕	普通	牧	果	小	田	輪耕	普通	牧	果	小		
	(ha)	換地 (ha)	畑 (ha)	草地 (ha)	樹園 (ha)	計 (ha)	(ha)	換地 (ha)	畑 (ha)	草地 (ha)	樹園 (ha)	計 (ha)	(ha)	換地 (ha)	畑 (ha)	草地 (ha)	樹園 (ha)	計 (ha)		
農地防災	20.0				1.5	21.5													21.5	
計	20.0				1.5	21.5													21.5	

第2節 営農計画及び土地利用計画

1 営農計画の概要

本地区の基幹産業である農業においては、「水稲」「果樹」を基幹作物としている。本地区の土地改良施設は三島土地改良区によって維持管理が行われている。

当該事業の実施により、防災効果の発現および農業用水の安定確保を図り、安心できる環境のもと、地域にあった基幹作物の栽培に取り組み、持続性のある農業の安定経営に取り組んでいく。

2 土地利用区分

(第9表-1)

事業名	土地利用区分	田 (ha)	輪換 耕地 (ha)	普通畑 (ha)	牧草畑 (ha)	果樹園 (ha)	桑園 (ha)	小計 (ha)	雑種地 (ha)	山林 (ha)	その他 (ha)	計 (ha)	備考
ため池等整備事業	現況	20.0				1.5		21.5				21.5	
	計画	20.0				1.5		21.5				21.5	
	現況												
	計画												
計	現況	20.0				1.5		21.5				21.5	
	計画	20.0				1.5		21.5				21.5	

3 作付方式

(第9表-2)

事業名	作付方式			土地利用区分	1 年 目												2 年 目												備考
	項目	経営類型	1月 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12												1月 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12														
ため池等整備事業	現況	複合経営	水田																										
			水稲	○ △ 〰 × ×												○ △ 〰 × ×													
	樹園地																												
	温州みかん	〰 × × ×												〰 × × ×															
計画	複合経営	水田																											
		水稲	○ △ 〰 × ×												○ △ 〰 × ×														
		樹園地																											
温州みかん	〰 × × ×												〰 × × ×																

○：播種 △：定植 ×：収穫

4 生産計画

(第9表-3)

事業名	項目 地名	作物名	作付面積 (ha)			作付率 (%)		単位面積当収穫量 (kg/10a)			生産量 (t)			同左生産量増減の内訳 (t)		備考
			現況	計画	増減	現況	計画	現況	計画	増減	現況	計画	増減	面積増減	単位面積当 収穫量増加	
ため池等整備事業	田	水稲	20.0	20.0		100	100	471	471		94	94				
	計		20.0	20.0		100	100				94	94				
	畑(樹園地)	温州みかん	1.5	1.5		100	100	1,513	1,513		23	23				
	計		1.5	1.5		100	100				23	23				
	計		21.5	21.5		200	200				117	117				

5 労働改善計画 (該当なし)

6 級地別土地利用区分 (該当なし)

7 土地配分計画 (該当なし)

第3節 用水計画 (該当なし)

第4節 排水計画 (該当なし)

第5節 道路計画 (該当なし)

第6節 農用地造成計画 (該当なし)

第7節 洪水調節計画 (該当なし)

第8節 干拓計画 (該当なし)

第9節 農用地整備計画 (該当なし)

第10節 老朽ため池改修計画

1 洪水吐改修計画

(1) 計画基準雨量

88.00 mm/hr (200年確率1時間雨量)

(2) 計画洪水量

工区名	計画洪水量	備考
恵之久保	0.72m ³ /s	

2 堤体補強計画

工区名	工法	法面保護	堤高
恵之久保	傾斜遮水ゾーン型	布製型枠	10.2m

3 取水施設改修計画

工区名	斜樋	底樋	その他
恵之久保	300mm	600mm	

第5章 主要工事計画

第1節 用水施設 (該当なし)

第2節 排水施設 (該当なし)

第3節 道路及び索道 (該当なし)

第4節 農用地造成 (該当なし)

第5節 洪水調節施設 (該当なし)

第6節 干拓施設 (該当なし)

第7節 農用地整備施設 (該当なし)

第8節 老朽ため池改修施設

1 貯水池

(第24表)

名 称	恵之久保池				位 置	四国中央市豊岡町大町		
堤 体	形 式	流 域 (ha)	堤 高 (m)	堤 長 (m)	堤 体 積 (m ³)	堤 頂 幅 (m)	貯 水 量 (千m ³)	備 考
	傾斜遮水 ゾーン型	2.1	10.2	105.0	28,700	4.0	12	
洪 水 吐	形 式	洪 水 量 (m ³ /s)	規 模 幅(m)	備 考	取 水 施 設	型 式	取 水 量 (m ³ /s)	
	越流堰式	0.72	1.3			斜樋 スルースケートφ 200	0.102	

2 堤体補強施設

(1) のり面保護施設

前法面保護工 布製型枠で保護

後法面保護工 張芝で保護

(2) 漏水防止工

傾斜遮水ゾーン型工法にて全面改修

第6章 附帯工事計画 (該当なし)

第7章 工事の着手及び完了の予定時期

平成30年度～令和7年度

第8章 環境との調和への配慮

本ため池を含む周辺地域は、四国中央市田園環境整備マスタープランにおいて環境配慮区域に位置付けられていることから、地域住民・有識者の意見を踏まえ、事業実施期間中の汚濁水防止に努め、確認された希少植物を含む自然生態系に対する負荷を最小限に抑える対策を行う。

第9章 換地計画の概要 (該当なし)

第10章 事業費の総額及び内訳

(第26-1表)

1 当該事業にかかる費用

工 種	事 業 量	事 業 費 (千円)	備 考
純工事費	一式	196,757	
測量試験費	一式	25,324	
用地買収補償費	一式	2,519	
換地費	—		
計		224,600	
地方事務費	一式	11,230	
工事雑費	一式		
合 計		235,830	

2 総費用

(単位：千円) (第26-2表)

区分	工 種	事業着工時点の 資産価額	当該事業費	関連事業費	評価期間における 再整備費	評価期間終了時点の 資産価額	総費用
当	ため池工	75	268,910		7,673	27,757	248,901
該							
事							
業							
関							
連							
事							
業							
合 計		75	268,910	0	7,673	27,757	248,901

第11章 効用

1 年功価額及び年増加所得額

(第27表)

区 分		全体の効果額 (千円)		効果発生面積 (ha)	備 考
効果項目		年総効果(便益)額	現況年総農業所得額 (年総増加所得額)		
食料の安定供給確保に関する効果		△ 1,507	726		
	作物生産効果				
	品質向上効果				
	営農経費節減効果				
	維持管理節減効果	△ 1,507	726		
農業の持続的発展に関する効果		7,432	775		
	耕作放棄地防止効果				
	災害防止効果(農業)	7,432	775		
	農業労働環境改善効果				
農村の振興に関する効果		18,663			
	災害防止効果(一般資産)	18,663			
	地域用水効果				
	一般交通等経費節減効果				
	地籍確定効果				
	国土造成効果				
	非農用地等創設効果				
	※地域経済への波及効果				
多面的機能の発揮に関する効果		19,430			
	災害防止効果(公共資産)	19,430			
	水源かん養効果				
	景観・環境保全効果				
	都市・農村交流促進効果				
計		44,018	1,501		(評価期間 48年)

2 総便益額

総便益額 <1,221,286千円>

第12章 関連する事業 (該当なし)

第13章 現況・計画図面

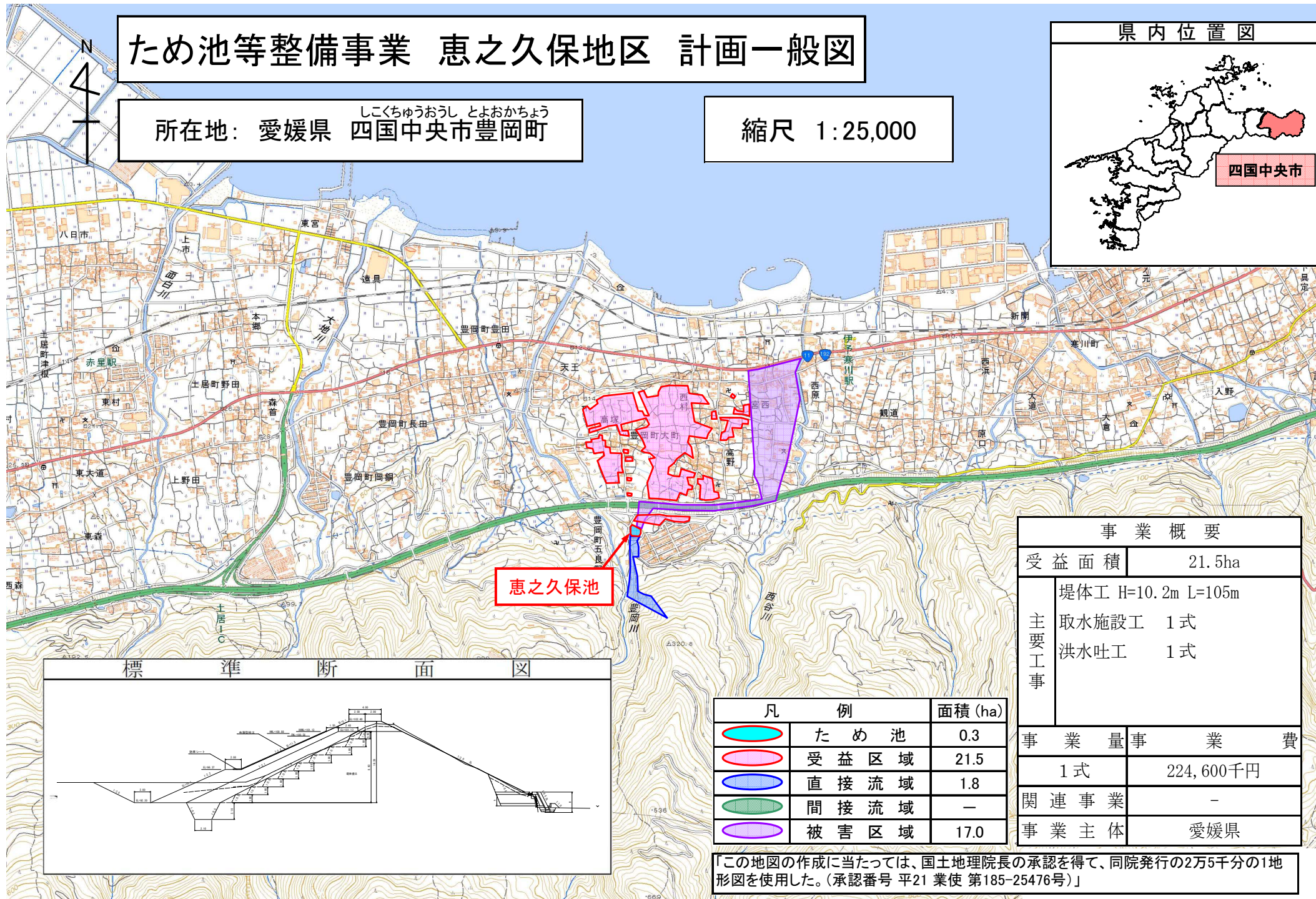
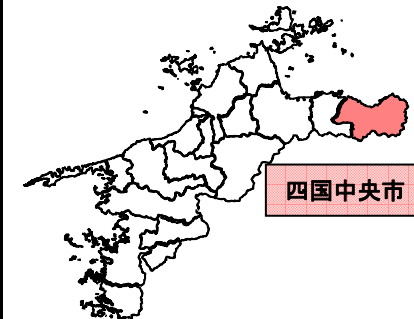
- 1 現況平面図 別添「計画一般図」参照
- 2 計画平面図及び土地利用計画図 別添「計画一般図」及び「土地利用図」のとおり
- 3 主要構造図 別添「三面図」のとおり

ため池等整備事業 恵之久保地区 計画一般図

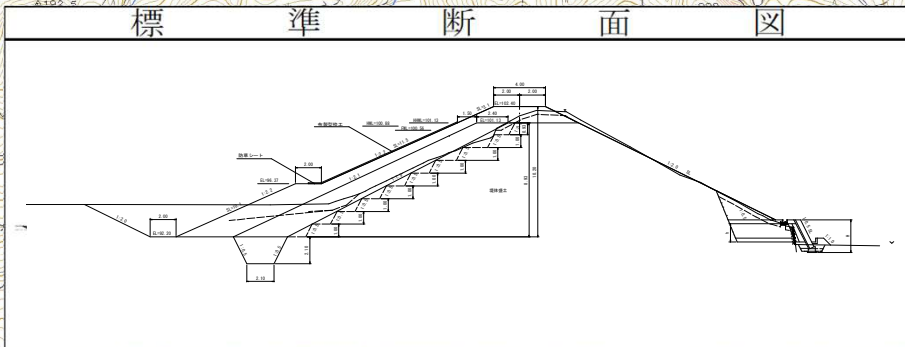
所在地：愛媛県 四国中央市豊岡町

縮尺 1:25,000

県内位置図



標準断面図



事業概要

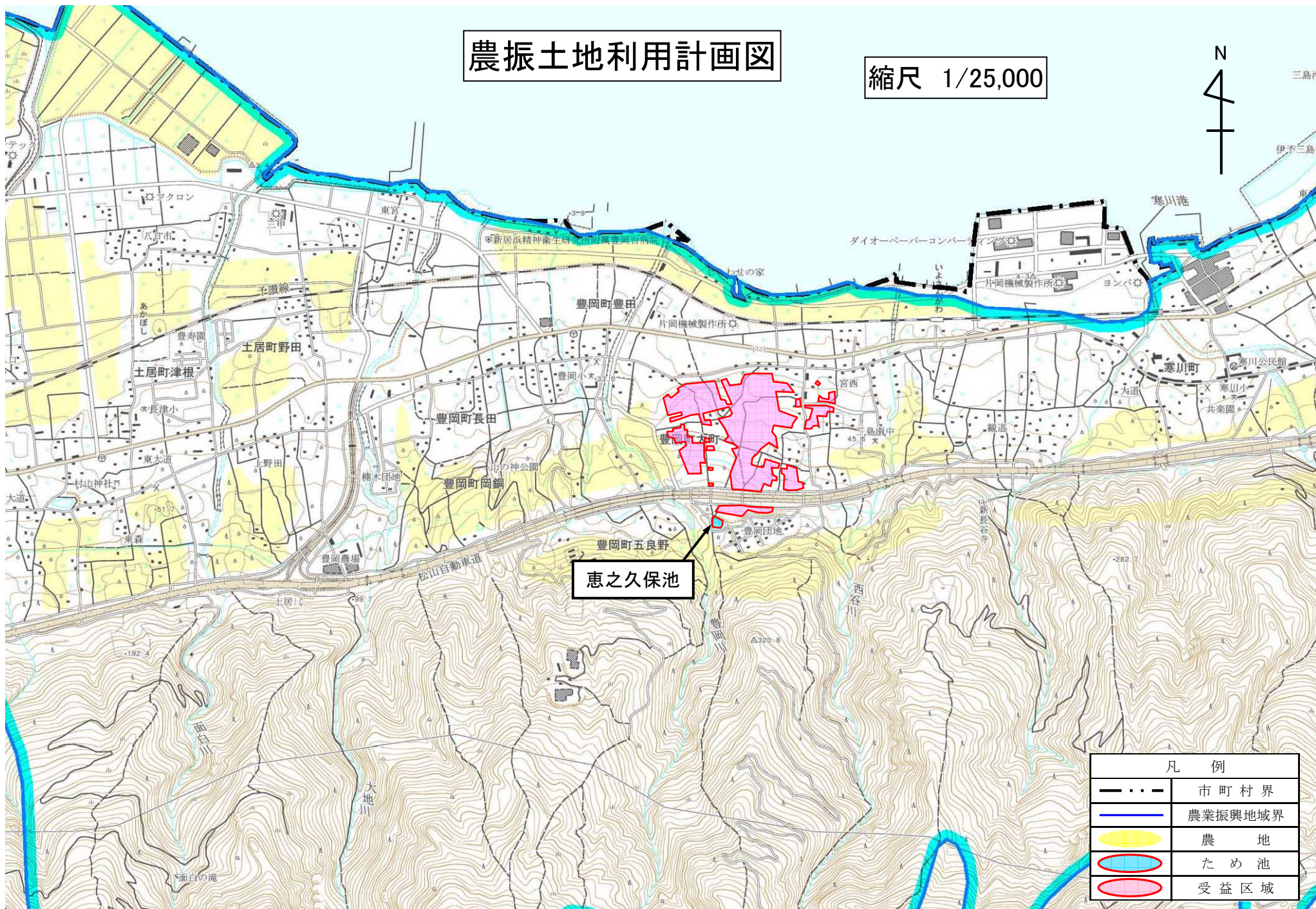
受益面積	21.5ha
主要工事	堤体工 H=10.2m L=105m 取水施設工 1式 洪水吐工 1式
事業量	事業費
1式	224,600千円
関連事業	-
事業主体	愛媛県

凡	例	面積 (ha)
	ため池	0.3
	受益区域	21.5
	直接流域	1.8
	間接流域	-
	被害区域	17.0

「この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の2万5千分の1地形図を使用した。(承認番号 平21 業使 第185-25476号)」

農振土地利用計画図

縮尺 1/25,000

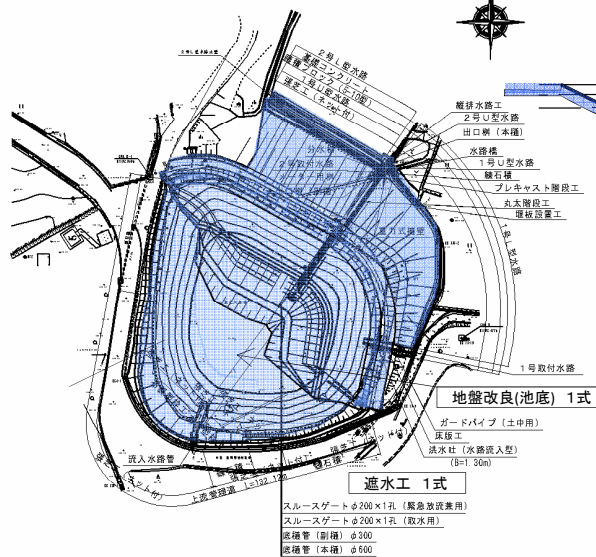


凡 例	
— · — · —	市 町 村 界
— (blue) —	農業振興地域界
■ (yellow)	農 地
○ (blue)	た め 池
○ (pink)	受 益 区 域

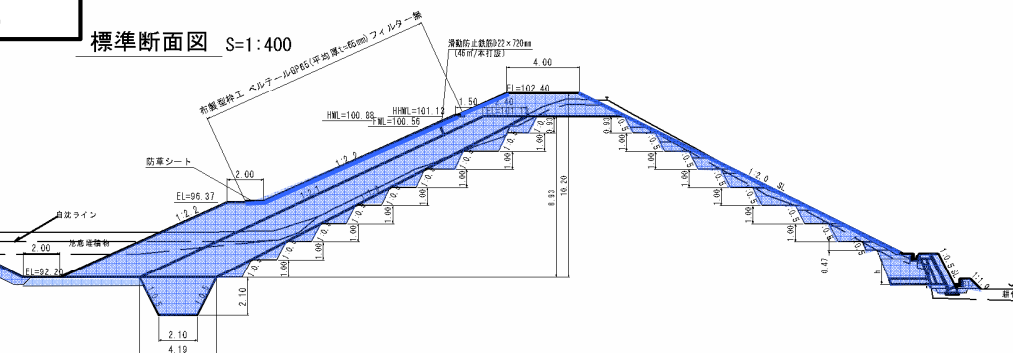
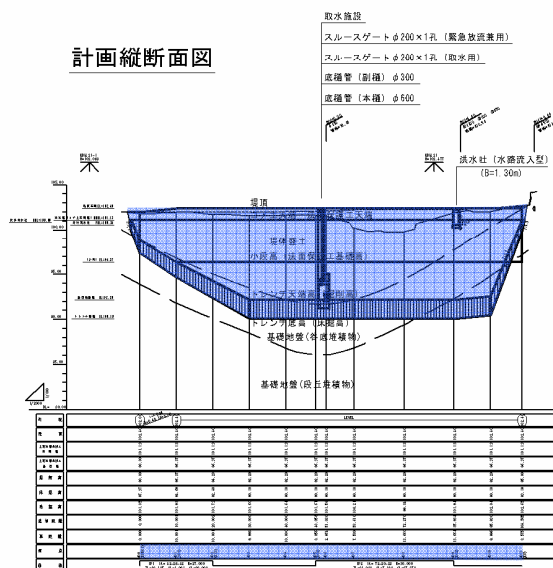
ため池等整備事業 恵之久保地区

標準断面図 S=1:400

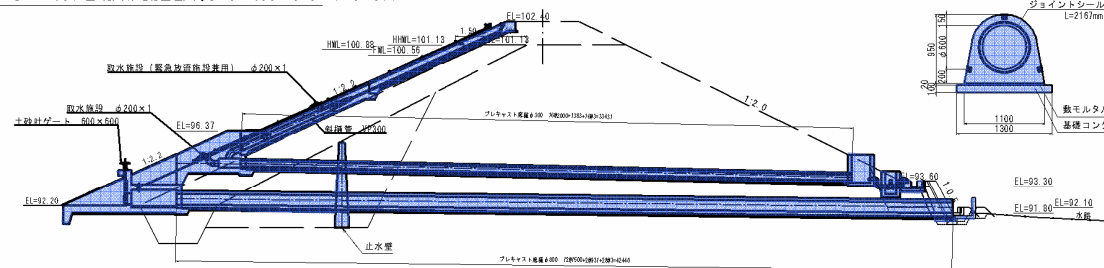
計画平面図 S=1:2000



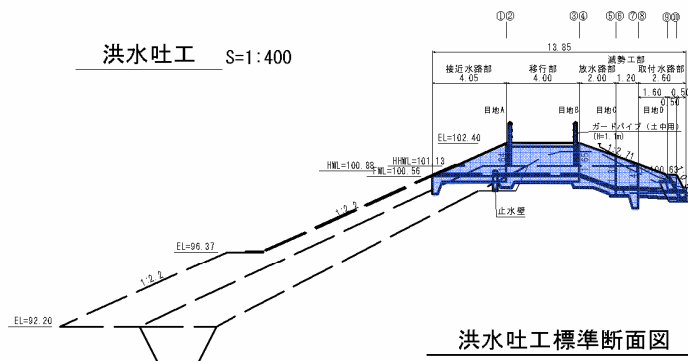
計画縦断面図



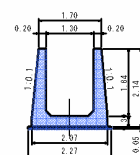
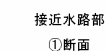
取水・緊急放流施設標準断面図 S=1:400



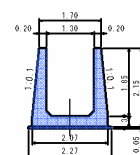
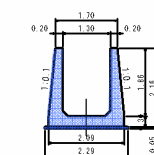
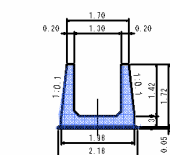
洪水吐工 S=1:400



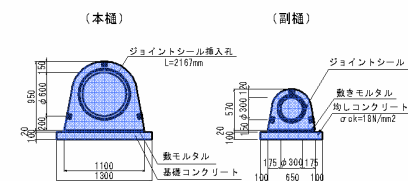
洪水吐工標準断面図 S=1:200



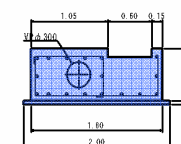
移行部
④断面

放水路部・減勢工部
⑤⑥断面減勢工部・取付水路部
⑦⑧断面

底樋管標準断面図 S=1:100



底樋管標準断面図 S=1:100



県内位置図

